

～ヒューマイン드의取り組み～

～ハンセン病回復者サポーター養成講座からサポータークラブ(仮称)の発足へ

ヒューマインド(大阪府福祉推進人権センター) 自立支援室長

坪田 真起子

ヒューマインドでは、2003年11月から12月にかけて「ハンセン病回復者サポーター養成講座」を開催しました。当初の募集定員30名を上回る参加希望や問い合わせが寄せられ、大きな反応がありました。講座内容も毎週土曜日に講義4回、フィールドワーク1泊2日という強行日程にもかかわらず、皆さん熱心に参加されました。

とくに、邑久光明園と長島愛生園でのフィールドワークでは、入所者の方々の居宅を訪問させていただき貴重なお話をお聴きすることができました。また、長島愛生園歴史館では、これまでの歴史をわかりやすくビジュアルに勉強することができました。そして、自治会の皆さんとの交流会には一同大感激でした。夜は園内に宿泊し、受講生同士の活発な意見交換等、講座修了後の活動に参加者それぞれの熱い思いを語りあい、心に深く残る時間を共有できたと思います。

さて、講座を修了し、これからどのように「生きたサポーター活動にしていけるか？」これが現在の課題です。研修修了後、受講生の方々から意見をお聞きし、まとめ作業にはいっているところです。皆さんから提案された主な活動は、①地域への啓発活動、②来阪時等の外出支援、③療養所入所者の方々との継続的な交流、④真相究明等の調査協力・資料整理、⑤社会復帰支援などです。まずはサポーターの活動基盤をつくる必要があるという意見が多くありました。

それを受けてヒューマインドが中心となり、拠点となる場所の確保、情報の収集・交換・発信などを行い、定期的に集まれる機会をつくり、サポーターの皆さんが主体的に活動できるしくみにしていきたいと思っています。

一方、邑久光明園と長島愛生園自治会の方々をはじめ、すでに退所されている方々との連絡窓口となり、それぞれのニーズに対応するための相談窓口の役割を担いたいと思っています。そして、サポーターの皆さんが個々に活動

できること、したいことを登録していただき、両者のニーズをつなぐ役割を果たすため計画を進めているところです。

また、飛鳥や住吉、和泉、富田林人権文化センター等府内のいくつかの地域でも講座の開催や取り組みをはじめようという動きが活発です。さらに、先行して活動している岡山県のボランティアグループとも連携し合い、各地域の動きや情報がヒューマインドに集まるようにし、お一人おひとりのニーズを大切にしたい効果的な活動にしていきたいと思っています。

また、サポーターの皆さんが安心して活動するためには、緊急時に対応できる協力機関や地域との連携も不可欠です。

このような活動をひとつひとつ積み重ねることによって、療養所入所者の方々をはじめ、皆さんの地域及び社会生活の回復につながるよう取り組んでいきたいと思っています。



1930年、日本初の国立療養所「長島愛生園」の開園に先駆けて、建てられた旧事務本館。ここには入所者は決して立ち入ることはできなかった。2003年8月、「長島愛生園歴史館」として新たなスタートを切った。

「ハンセン病回復者サポーター養成講座」で訪れた長島愛生園の納骨堂で、献花するサポーター。納骨堂には、死んでもなお、故郷に帰ることのできない約3,500柱もの遺骨が眠る。



ハンセン病回復者サポーター養成講座プログラム

		時間	講師等	内容
基礎編	1回目 11月1日 (土曜)	13:15～14:00	総合福祉協会 福祉運動みどりの風 富田 めぐみ氏	<ul style="list-style-type: none"> ●開講式 挨拶・オリエンテーション ●これまでのハンセン病問題への取り組みについて
		14:00～16:00	神 美知宏氏 (全国ハンセン病療養所 入所者協議会事務局長)	(講義とフリートーク) <ul style="list-style-type: none"> ●日本のハンセン病対策と人権 ～回復者の辿ってきた歴史や現在おかれている状況について学ぶ～ ・いまだに続く差別と偏見 ・ハンセン病回復者の社会復帰とは ・入所者は今何を求めているのか
	2回目 11月8日 (土曜)	13:30～16:00	牧野 正直氏 (邑久光明園園長)	(講義とフリートーク) <ul style="list-style-type: none"> ●ハンセン病についての理解 ～治療の歴史と現在の医療などの医学的知識について学ぶ～ ・ハンセン病とはどんな病気だったのか ・ハンセン病の治療や身体状況(後遺症) ・療養所入所者の現在の状況や課題について
	3回目 11月15日 (土曜)	13:30～16:00	坂本 団氏(弁護士) 川島 保氏(地域復帰者)	(講義とフリートーク) <ul style="list-style-type: none"> ●ハンセン病政策と人権、社会復帰支援の課題 ～日本のハンセン病の政策と人権問題、地域復帰した人などの体験を通して、社会復帰支援のあり方を学ぶ。～ ・強制隔離政策による社会の偏見と差別 ・社会復帰の困難さと地域復帰支援 ・復帰した人の体験談を通して、ハンセン病問題を理解する。
	4回目 11月22日 (土曜)	13:30～16:00	ワークショップ修了式	<ul style="list-style-type: none"> ●ワークショップ ～講座を通し、学習・感じたことを出し合い、何が求められ、私たちに何ができるのかを探る。～ ファシリテーター 東野 正尚
実践編	5回目 12月5日～6日 (金・土) 【1泊2日】	1日目 8:50 集合 9:00 出発 貸切バスで 邑久光明園へ 2日目長島愛生園 15:00 園出発 午後6時頃大阪着予定 解散	1日目【邑久光明園】 <ul style="list-style-type: none"> ・入園者との懇談会 ・居宅訪問 ・園内見学 ・宿泊先：邑久光明園 2日目【長島愛生園】 <ul style="list-style-type: none"> ・園内見学 ・歴史資料館見学 ・入園者との懇談会 	<ul style="list-style-type: none"> ●フィールドワーク(現地訪問) 実際に実践可能なサポーターの育成を目的にハンセン病療養所へ現地訪問し、ハンセン病問題についての理解をさらに深める。 ①療養所の歴史的な建造物や歴史資料館の見学 ②入園者の方との交流(懇談会)を通して、生活実態や入園者の思いを知る。 ③入園者との交流(居宅訪問) ----- <ul style="list-style-type: none"> *上記の研修をとおして、実際にサポーターとして何ができるのかを、参加者自身が考えてみる。 *サポーターの登録等